



身近な  
'97 生きものの  
調査



●案内パンフレット●



環 境 庁

身近な  
'97 生きもの  
調査



# 今年のテーマは“ツバメの巣”



## 今年も「身近な生きもの調査」にご参加ください。

1995年から始まった3回目の「身近な生きもの調査」は、年ごとにテーマを決めて「セミ」、「ひつつきむし」と調べてきました。そして今年「ツバメの巣」がテーマです。

「身近な生きもの調査」は、全国の多くの方々に参加いただくことで成り立っている調査です。皆さんから、それぞれの町のツバメのようすをお知らせいただくことで、日本全国のツバメの今の姿を知ることができます。そしてそれは、町や地域の自然の状態を知る重要なデータになります。これまでも増して多くの方々の参加をお待ちしています。

## ツバメの巣を探してみよう

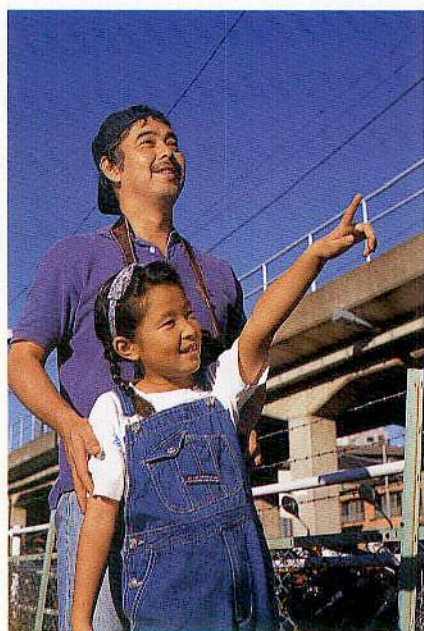
皆さんは家の近くでツバメの巣をご覧になったこと

があるでしょうか。人家や商店の軒先、駅、役場など、ツバメは私たちの身近な場所に巣を作っている野鳥です。巣を作ると良いことがあると言い伝えられ、昔から人々に親しまれてきた鳥でもあります。春の使者であるツバメが姿を見せるのを、首を長くして待っている人も多いことでしょう。

建物に巣を作っているツバメの仲間には、よく調べてみるとツバメ、コシアカツバメ、イワツバメなど、いろいろな種類がいます。それぞれ巣の形に特徴があり、巣を見ただけで種類を確認することができます。そこで、今年の身近な生きもの調査では、「ツバメの巣調べ」を計画しました。どこに、どんな種類のツバメが巣を作っているか、力をあわせて調べてみましょう。

## ツバメの巣の写真を送ってください

家や学校、職場などの周りをじっくり歩いて、ツバメの巣を探してください。ツバメ類は、建物だけでなく、橋や、鉄道や道路の高架下などに巣を作っていることもあります。巣が見つかったら、その場所のようすを用品紙(調査票)に記録し、ツバメの種類や巣の



# 調査の 参加方法

集”

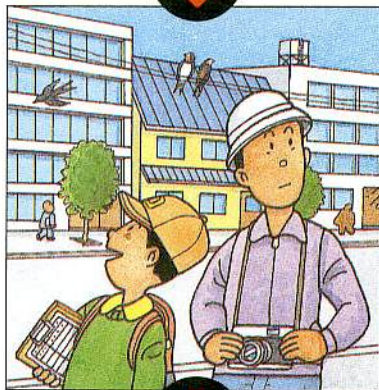
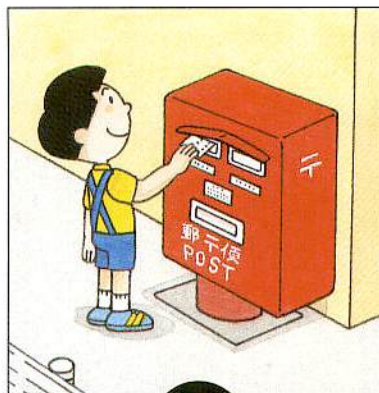


数、親鳥が来ているかどうかなどを調べます。商店などだったら、いつ頃から巣を作っているか、毎年ヒナががえるかなどをお店の方などに教えてもらってください。何日か後にもう一度行って見て、親鳥が卵を抱いているか、ヒナがいるかなども調べてください。そして、観察の証拠として「巣の写真」を撮り、送っていただきます。

## 減っているのか増えているのか、 ツバメたち

このごろツバメが減っているのではないかという声があります。一方、イワツバメが新しく巣を作り始めた場所もあるようです。皆さんからの記録をまとめると、こうしたツバメ類の、種類による増減のようすが分かってくるでしょう。

また、ツバメ類はどういう場所を好んで巣を作っているのでしょうか。種類による違いがあるのでしょうか。ツバメの巣が商店街に集中している地域もあれば、牛小屋に多く見られる地域もあります。今回の調査からは、そうした地域による差が、都市化の進み具合とどの程度関係しているかも浮かび上がってくるでしょう。



## 1 申し込み

返信用切手を同封のうえ、「申込カード」をお送りください。募集の締め切りは平成9年4月末日です。

## 2 資料の 受け取り

お申し込みいただいた方には調査に使う資料として、

- 調査のてびき
- 調査票

を4月以降にお送りします。なお、4月以降にお申し込みをいただいた場合、お手元に資料が届くまでに、1ヶ月程かかりますのでご了承ください。

## 3 現地調査

5月～8月にかけて、「ツバメの巣」を探してください。見つかったら巣の写真を撮って、ツバメのようすを調査票に記入してください。調査は皆さんのふだんの生活の範囲内で行っていただければ結構です。

## 4 調査票の 返送

返送期限は平成9年8月31日。「ツバメの巣」の写真を貼った調査票をお送りください。



## 生きもの地図をつくります

「ツバメの巣」の写真は正確な分布図を作るための重要なデータとなります。皆さんから寄せられたデータで、ツバメの種類ごとに全国の分布図（生きもの地図）をつくります。

## 自然の変化をさぐります

種類ごとの分布図ができれば、過去に調査された結果と比較して、分布する範囲が広がったかどうか、どの地域にどのような変化があったのか、などを知ることができます。

さらに、そうした結果をそれぞれの地域の緑地の減少や人口の増加の状況などと合わせて分析することで、ツバメ類の分布の変化が、たとえば都市化の影響などによるものかどうかなどを知る手がかりが得られます。

## お手元に届いた調査結果から、身の回りの自然について考えてください

調査に参加いただいた皆さんには、全国の分布図や皆さんの身近な地域の情報などを盛り込んだ調査結果（報告書）をお届けします。

調査結果をご覧になって、皆さんの身の回りの自然や環境の変化について考えてみてください。

## 緑の国勢調査とは

緑の国勢調査は、環境庁が実施する日本の自然に関する総合的な調査で、正式には「自然環境保全基礎調査」といいます。全国の植生や動植物の分布、海岸や河川、湖沼の改変の状況などが調べられており、「身近な生きもの調査」もそのなかの一つとして行われています。

## さまざまな情報をマルチメディアで

身近な生きもの調査に関することはもちろん、その他の緑の国勢調査に関する情報などをFAX、インターネット、パソコン通信で取り出すことができます（情報は2ヶ月に1回程度で更新予定）。

### ①FAXサービス (NTT World Nature Network)

FAX番号 03-5353-7460 (4301 #)

※ダイヤル回線の場合は、ガイダンスが聞こえたら電話機のスイッチを「PB」または「トーン」に切り替えてください。

### ②インターネット (NTT World Nature Network)

アドレス <http://www.wnn.or.jp/wnn-n>

### ③パソコン通信 (EICネット)

アクセスポイント 03-3595-3271

※NIFTY-ServeまたはPC-VANから接続する場合は「他のネットワークへの接続」のメニューから「EICネット」を選択。

身近な  
'97 生きもの  
調査



- 調査資料等の郵送料は、参加者の皆さんにご負担をお願いしております。
- 参加募集の締め切りは4月末日です。締め切り日までに「申込カード」を環境庁あてにお送りください。

■お問い合わせは

〒100東京都千代田区霞が関1-2-2  
環境庁自然保護局計画課

自然環境調査室

☎03-3591-3228